

作成日 平成24年11月1日
改訂日 平成25年12月1日

標準施工仕様書

製品名 ベストリファイン・クールタイプ

仕様 ノントップ仕様

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

JIS表示	該当なし
特記	カラーセラミック配合水性シリコン仕上
用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校その他建築物の屋根
適用下地	窯業系スレート瓦(カラーベスト、コロニアル)の塗り替え
適用箇所	屋外屋根面
施工不可部位	粘土系瓦(陶器瓦、素焼瓦、いぶし瓦)、金属板葺き

施工上の注意事項

- 1 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 2 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 3 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 4 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 5 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 6 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 7 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 8 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 9 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 10 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 11 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 12 その他の注意事項
 - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
 - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

標準施工仕様

本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	清掃				
2	下地調整	セラ溶剤シーラーA (無希釈) 14kg	ウールローラー(※1) (中毛以上) 刷毛	1~2	2時間以上
3	上塗材①	ベストリアイン・ケルタイプ [®] 16kg 清水 0.5~1.5kg	ウールローラー(※1) (中毛以上) 刷毛	1	3時間以上 3日以内
4	上塗材②	ベストリアイン・ケルタイプ [®] 16kg 清水 0.5~1.5kg	ウールローラー(※1) (中毛以上) 刷毛	1	2時間以上
5	縁切り	水切り部で上下の瓦に塗材が入り、密着している部分をカッターナイフ、皮スキ等で縁切りします。			24時間以上 (最終養生)

※1 ウールローラーは中毛以上を使用してください。短毛では骨材のかたよりの原因となりますので注意して下さい。

塗装上の注意事項

- 1 ベストリアイン遮熱は規定量の清水を投入した後、オートマゼールにて均一に攪拌してください。
- 2 オートマゼールは使用の際きれいに洗浄して下さい。
- 3 下地調整が不十分だと、塗膜剥離の原因となったり、仕上がりが不良になる場合がありますので、高圧洗浄か金属ワイヤーブラシなどによるケレン後、水洗し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去して下さい。
- 4 塗装後、水切部で基材の重なり部分に塗料が付着し、つまっていると漏水の原因になりますので、皮スキ、ケレン棒、カッター等で縁切りを行って下さい。
- 5 水洗後は24時間以上乾燥させてください。また、基材表面が雨、露などでぬれている場合も十分に乾燥させてから、塗装を行って下さい。密着不良の原因になります。
- 6 夏場などの基材の温度が特に高い場合は散水して基材の温度を下げた後に、よく乾燥してから施工に入ってください。
- 7 山間部或いは夜露の早く降りる地域では早めに塗装を終えて、十分な乾燥時間を確保してください。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。